

OSS だより

----- 2020年春号（第60号） -----

コロナへの備え

所長 岡武 和暁

新型コロナウイルスの騒動が続いていますが、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか？きっとお仕事においても、日常生活においても、大きな制約を強いられておられることと思います。“見えない敵との戦い”ですので、気が休まりません。

こうした中、**最優先すべきはお客様やスタッフとその家族の健康**です。『OSS』では、まず衛生用品を準備しました。スタッフと家族用のマスクとハンドソープを配布しました。事務所用にアルコール消毒液はもちろん、「次亜塩素酸 空気除菌脱臭機（ジアイーノ）」も購入し、日常の換気や除菌も行っています。電車通勤を控えてもらい、テレワークや時差出勤を行うことで事務所1Fにいるスタッフは少人数に抑えています。（私自身は事務所の2Fで仕事をする事が増えています。）望まれる方以外へのお客様訪問は控え、相談やお手続きはできるだけ電話やオンライン、郵送やメールで行っています。

日常生活も、政府の休校要請を受けてから一変しました。3月から長女美空（みそら、大学生）、長男克樹（かつき、中3）は学校に行っていません。克樹はバスケットボール部に所属していますが、最後の大会が中止になってしまいました。ここまでチームの仲間と一緒に頑張っていたのを知っていますので、掛ける言葉も見つかりません。

それでも今一番大切なことは、まずコロナに感染しないこと、そして大切な人をコロナに感染させないことです。一連のコロナ騒動が沈静化したら、家族や友人たちと食事をしたりお出かけしたり、今まで当たり前だと思っていた日常を思い切り楽しみたいですね！



※イラストは「アマビエ」様
疫病退散のご利益のある妖怪

発行



保険のOSS

〒607-8067 京都市山科区音羽前田町 52-1

☎ 075-502-8451 (コマルニハヨコイ)

URL <http://www.oss-ins.jp>

Mail info@oss-ins.jp



保険の OSS

検索

「OSS だより」の題字と命名は立命館大学 松岡正美先生にお願いしました。

『保険のOSS』で 「保険」に入っていて良かった！

飲食店店長 河本 宣雄

『保険のOSS』を知ったきっかけは、勤務している会社の社長から「岡武さんは信頼できる方です。会社はもちろん、私個人の保険も全て岡武さんの『OSS』に入っているんで、ぜひ皆さんもどうぞ。」と紹介された事でした。社長からの推薦の話を聞いていたので、私自身はもちろん、多くの同僚も『OSS』で保険に加入するようになりました。

それ以降、お店でのトラブルが起こった時や相談したい事があった際などは、『OSS』に連絡すればいつでも親身になって回答してもらいました。私自身もお店の後輩たちから「保険に入りたい」と相談された時は、迷わず『OSS』を紹介してきました。

今年の2月初めのことです。私は仕事を終えて、原付バイクでお店から帰る途中でした。左右をよく確認せずに交差点に侵入したところ、右から来たタクシーと出会い頭に衝突してしまいました。原付で自動車と接触した衝撃は想像以上に大きく、そのまま救急車で病院に運ばれました。診察の結果は全身の強い打撲と足指4本の骨折でした。全身麻酔での手術を行いました。麻酔が切れてからの強烈な痛さは思い出しただけでもぞっとしますし、もう二度と経験したくありません。

『OSS』には会社の同僚が連絡してくれたようです。岡武さんから連絡があり、自宅までお越し頂いて、私が加入している保険の中で請求の対象になるものを説明して下さいました。実は私が交差点での「一旦停止」を守らなかったため、事故の過失は私の方が大きくなりました。まず相手タクシーの修理代は私の加入している「バイクの任意保険」で、責任割合分を賠償できるとのことでした。次に私のケガについての補償ですが、勤務先の会社の「労災保険」へ申請してもらったので、治療費の自己負担はなしで済んでいますし、労災の休業補償として給与の一定割合が支払われることが分かりました。ただ、休業補償の支払いには結構の日数がかかるので、現時点でもまだ支払われていません。『OSS』で「医療保険」にも加入していましたので、入院・手術給付金の対象になりました。労災の給付がまだなので、こちらの支払いが早くとても助かりました。これ以外にもバイクの「任意保険」の「人身傷害保険」から、給与の減額分に加えて慰謝料相当分が受け取れるそうです。

今回の事故を経験して、安全運転の大切さと健康のありがたさを痛感しました。また、自分の生活を守ってくれる「保険」の重要性も実感できました。私もまさか自分がこんな形でお世話になるとは思ってもいませんでしたが、今は『OSS』できちんとした保険に加入していて本当に良かった！」と感謝しています。事故は本当に懲り懲りですが、これからもよろしくお願いします。

今は自分にできるリハビリに努めて一日も早い職場復帰を果たして、迷惑をかけた会社や同僚たちにこれからの仕事でお返ししたいと思っています。

河本さん、原付での事故は本当に大変でしたね。

まだしばらくリハビリは続きますが、今は治療に専念して元気に職場復帰を果たして下さい。笑顔の河本店長に、お店でお会いできる日を楽しみにしています！

[岡武和暁]





高校でやりたいことがいっぱい！

K高等学校 1年 A

私は中学3年生だった去年の5月から『山科醍醐こどものひろば』（※以下、ひろば）に通うようになりました。中学の先生が私に「自宅にいとあまり集中できないだろうから、学校以外で勉強を見てもらえる所があるよ。」と『ひろば』のことを教えてくれました。

それからは毎週1回、『ひろば』に行くようになりました。『ひろば』のボランティアの学生さんたちとは英語の勉強を教えてもらったり、一緒に頭の体操をしたりして過ごしました。また高校入試が近づいてくると、受験勉強を見てもらうようになりました。そのおかげで志望校に合格できました。

高校に入学したら、やりたいことがいっぱいあります。英語が好きなので、しっかりと勉強して頭の中にあるものをきちんと英語で表現できるようになりたいです。また、服に興味があるので、アパレルのデザイナー関連も勉強したいです。高校生活が始まるのが、今から待ち遠しいです！

※『山科醍醐こどものひろば』は「子どもたちとつくる貧困とひとりぼっちのないまち」を目指して活動されています。詳しくは、<http://www.kodohiro.com/>をご参照下さい。

今年の3月末にこれから始まる高校生活のことを嬉しそうに話してくれたAさん。笑顔が素敵な女の子でした。コロナ騒動が落ち着いたら、絶対に高校生活を楽しんで下さいね！

[岡武和暁]



『OSS奨学金』は、下記の私学・私学関連団体のご支援により実現しております。

紙面を借りて厚くお礼申し上げます。

(順不同、敬称略)

〔学校法人〕

池坊学園	成安造形大学
ヴォーリズ学園	東山学園
関西文理総合学園	平安女学院
京都外国語大学	明德学園
京都橘学園	立命館
淑徳学林	

〔私学関連団体〕

京都学校カウンセリング研究所
京都私学振興会
滋賀短大附属バスケットボール教室
滋賀短大附属バレーボール教室
京都橘バレーボール教室

〔教職員組合〕

京都私学教職員組合
京都橘中学校・高等学校教職員組合
京都橘大学教職員組合
明德学園教職員組合
立命館宇治中学校・高等学校教職員組合

この他にもたくさんの民間企業・団体・個人のご支援を頂いておりますが、紙面の都合により、お名前は省略させて頂いております。

スタッフからの一言

主人の会社から休みの日は外出自粛するようにと、図書カードをいただいたので家族で読書をしています。最近読んで感銘を受けたのが宮本輝著の『錦繡』。別れた夫婦が手紙のやり取りをする構成で、美しい日本語がすごく印象的でした。哀しい物語なのに日本語の美しさによって癒されました。娘のおすすめは『時給三〇〇円の死神』（藤まる著）。“めっちゃおもしろい！”と若者言葉で言っていました。笑



徳村 裕子

コロナ騒動で子どもたちが家にいて、夕食を全員そろって食べる日が多くなりました。これを機にいろいろお手伝いをしてもらおうと、手伝ってもらいやすいメニューを考えるのですが、夕方仕事から帰って思いつくメニューが「ハンバーグ」「餃子」となり、ハンバーグ比率が多い今日この頃です。週末にお願いするOSSのお客様のお店のテイクアウトが我が家の「お楽しみ」となっています。



岡武 直美

うちでは最近ジャグリングが流行っています。テニスボールからスタートして公式セットを入手して日々技を磨いています。ボールの数も増えていき「今〇〇級クリアした」と意欲をみせて取り組んでいます。子どもに見習う事の多い今日この頃です。



小林 亜弓

コロナの影響で自宅で過ごす時間が長くなりました。普段は学校や部活に忙しくてなかなかゆっくりとした時間が取れなかった子どもとも、今はのんびりとカードゲームなどをして過ごすことも増えました。最近おもしろかったカードゲームは「FIVE CROWNS」です。暇を持て余したときに、ぜひ一度お試し下さい。



佐藤 智香子

この春子どもが幼稚園に入園しました。いつもであれば、多くの新入生、新社会人が新しい生活のスタートにワクワクしている時期なのに、今年はこのような状況になってしまいました。

来春はまた元気に笑顔で桜が見られることを願っています。



石川 麻由子

我が家の子ども達も3月からずっと休校。ケンカしながらも3人でボール遊びをしたり百人一首をしたり…と楽しく過ごしている様子を微笑ましく眺めている母です。

いろいろと制限される中、家族一緒に長く過ごせる時間を大切にしみつつ、このお便りが届く頃には終息していますようにと願うばかりです。



山下 薫